

観光マネジメントボード遠野 令和6年度 活動報告

令和7年3月21日

観光マネジメントボード遠野

1. 遠野の観光が目指すこと

持続可能な観光まちづくり

II

観光のために地域を利用するのではなく

地域のために観光を利用する

2. 「世界の持続可能な観光地100選」選出および部門賞受賞について

R6年10月、国際認証機関であるオランダの非営利団体グリーン・デスティネーションズが表彰する**2024年版「世界の持続可能な観光地100選」**に遠野市が選出された。

さらにR7年3月には、100選の中から優れた取り組みを表彰する部門賞の「文化・伝統」部門にて**1位を受賞**した。

選出には、初年度のエントリーでは国際基準100項目から特に重要な15項目の指標をクリアしていることが条件。入選した地域は、入選の証であるロゴマークの活用や専用ホームページ掲載による国際的なPRが可能となり、国際的な認知度向上が期待される。本申請はR6年4月にDMOが申請していたもの。

評価されたのは「遠野遺産」の取り組みで、市民主体の地域遺産制度が高く評価され、遠野市民の長年の努力によるもの。

Why did this story stand out?

"A successful story on community- driven efforts, protecting and promoting heritage to attract tourists who appreciate cultural and natural treasures"

住民が主導して文化遺産や自然遺産を保護・活用し、理解ある旅行者を惹きつける成功例



2. 「世界の持続可能な観光地100選」選出および部門賞受賞について

これを受けて、遠野市観光情報サイト「遠野時間」では特設ページを日本語・英語にて公開。遠野遺産についての説明、モデルコース、遠野遺産認定調査委員である佐々木大輔氏によるコラムなどを掲載した。



遠野遺産とは？

What is Tono Heritage?

2024年10月、岩手県遠野市が「世界の持続可能な観光地トップ100選」に選出されました。なかでも評価されたのは「遠野遺産」です。遠！碑、さらには年中行事や郷土芸能といった、求心力主体となって発見し、活用する取り組みです。

What is Tono Heritage?

In October 2024, Tono City in Iwate Prefecture was selected as one of the "2024 Top 100 Destinations Sustainability Stories". At the heart of this recognition is the "Tono Heritage." Tono Heritage refers to the efforts of local communities to discover and utilize cultural assets such as shrines, historical sites, ancient trees, waterfalls, stone monuments, annual events, and traditional performing arts, all of which have strong local significance.

英語版も多言語
サイトに公開



2024年10月、岩手県遠野市が「世界の持続可能な観光地トップ100選」に選出されたというニュースは、多くの人々の関心を集めました。その評価の中心にあったのが、遠野市独自の取り組みである「遠野遺産認定制度」です。本制度は、文化財の保護にとどまらず、地域コミュニティの活性化をも成功させています。その背景には、遠野の人々が積み重ねてきた文化的資本がありました。

2. 「世界の持続可能な観光地100選」選出および部門賞受賞について

<受賞の影響>

- ・プレスリリースが26のWebメディアに転載

- ・視察依頼 3件

- ・審査員依頼 1件

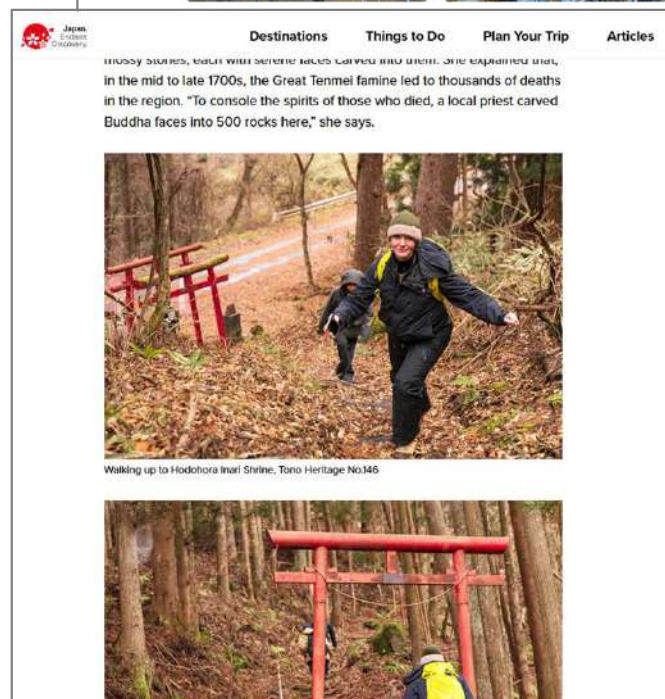
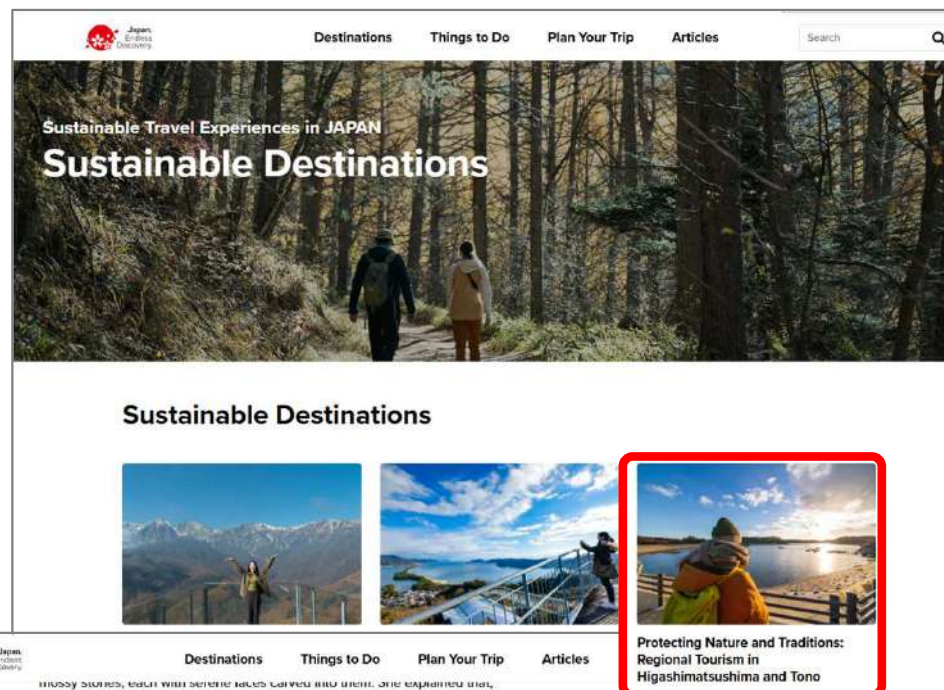
- ・JNTO（日本政府観光局）のサステナブル・ツーリズム特設サイトへの掲載取材依頼

など、今後も影響は続く見込み。

<今後について>

遠野遺産については、維持管理や価値の伝え方などの点で課題が存在する。

今回の受賞をきっかけに、**真の持続可能な観光地となっていくため**、今後関係者のみなさんで議論を深め、取り組んでいきたい。



3. 構成メンバー

氏名	役職	所属団体
河内 正好	会長	株式会社かわうち 代表取締役
田村 淳一	副会長	株式会社BrewGood 代表取締役
朝倉 優香	副会長	遠野市 産業部観光交流課長
田村 隆雅	監事	認定NPO法人山・里・暮らしネットワーク マネージャー
富川 岳	監事	株式会社富川屋 代表取締役
堀内 朋子	委員	一般社団法人遠野市観光協会 事務局長
蔵本 敏宏	委員	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合遠野支部支部長
河内 夕希枝	委員	遠野商工会 主幹
菊池 成幸	委員	岩手県交通株式会社 遠野営業所長
鈴木 英呂	委員	株式会社遠野ふるさと商社 代表取締役
多田 陽香	事務局長	株式会社遠野ふるさと商社 観光マネジメント本部 執行役員
小田島 孝英	事務局員	株式会社遠野ふるさと商社 観光マネジメント部門

4. 定例会の議題概要

総会	R6.3.25	<ol style="list-style-type: none">1. 令和5年度活動報告・収支決算見込み2. 令和6年度事業計画・予算案について
第1回	R6.4.18	<ol style="list-style-type: none">1. マーケティング戦略（案）2. R6年度KPIの設定について
臨時総会	R6.4.18	<ol style="list-style-type: none">1. R5年度収支決算の承認2. 規約の改定について
第2回	R6.6.14	<ol style="list-style-type: none">1. 新たなコンテンツ開発について2. 中期計画および今年度の来訪者調査について
臨時総会	R6.7.17	補正予算案承認の書面議決
第3回	R6.7.22	<ol style="list-style-type: none">1. パンフレット・マップ増刷タイミングについて2. メディア露出を増やすためのプレスリリース配信について3. コンテンツ開発の進捗共有・今後の予定
第4回	R6.9.2	<ol style="list-style-type: none">1. メディア露出（TOP100、Japan's Local Treasures選出）について2. 施設料金見直しについて
第5回	R6.10.9	<ol style="list-style-type: none">1. コンテンツ開発の進捗共有・今後の予定2. 冬の誘客施策について3. 遠野市観光情報サイトへの意見・要望
第6回	R6.11.20	<ol style="list-style-type: none">1. 高清水展望台の今後の整備について2. 来年度事業について
第7回	R6.12.23	<ol style="list-style-type: none">1. 高清水展望台の今後の整備について2. 令和7年度秋季JR東日本重点共創エリア指定について3. コンテンツ開発の進捗共有・今後の予定
第8回	R7.1.24	<ol style="list-style-type: none">1. 来訪者調査（繁忙期）結果について2. 今年度予算の着地見込みについて
第9回	R7.2.28	<ol style="list-style-type: none">1. キャラクター使用取扱要綱制定について

参考) 観光活性化に向けたステップ (「遠野市観光基本計画」より抜粋)

	【ステップ1】	【ステップ2】	【ステップ3】
時期	令和5・6年	令和7・8・9年	令和10年以降
取り組み方針	(主に) エントリーテーマの確立に関する事項	エントリーテーマから波及的に効果を広げる事項	
施策展開の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ① エントリーテーマの立ち上げに関する事 ② 官民連携新組織による地域マネジメントの体制を確立させていくこと ③ イベントに頼らないプロモーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① エントリーテーマの強化に関する事 ② エントリーテーマ以外に効果を広げていくこと 	<ul style="list-style-type: none"> ① 遠野市の観光活性化の全般に関する事 ※ 必要に応じて、新たなエントリーテーマも検討する

令和 6 年度活動報告

4. 事業概要まとめ

今年度の方針

本格的な情報発信・プロモーションと
体験価値向上に向けた基盤整備

ホームページのリニューアルと運用

遠野市の観光情報サイト「遠野時間」をリニューアルし自発的な発信体制を構築

広域連携プロモーション

花巻・遠野・平泉観光推進協会で周遊デジタルリーフレットを作成、他市町村からの流入を増やす

体験商品（コンテンツ）の受入体制づくり

人気のホップ畑見学や郷土芸能などの体験を受け入れるための人員体制を整備

受入環境整備

雲海スポットとして人気の高清水展望台の渋滞対策、安全対策のため、駐車場の整備を検討

キャラクター開発とグッズ展開

遠野の魅力を象徴するカッパ（妖怪）のキャラクターを開発し、グッズ展開による消費額向上を目指す

今年度の成果

体験コンテンツを見える化し
プロモーション基盤を整備

1 読み物を充実し「遠野時間」全面リニューアル

11月にリニューアル公開し古いままの情報を全面更新。観光客目線の読み物を発信することでサイト内の回遊率が向上。

2 施設や体験を集約した共通資料で営業力強化

体験、食事、宿泊、観光スポットが掲載された営業資料を完成させ旅行会社へ展開。花巻・平泉とPR動画・特設サイトを制作。

3 通年対応可の郷土芸能体験が初めて商品化

観光庁「地域新発見事業」の採択を受け、観光協会、山里ネットと郷土芸能を軸とした体験・ツアーを造成しプロモーション実施。

4 オーバーツーリズム対策の協議を推進

他地域の対策事例等を提供しながら旅行者の安全確保と渋滞緩和のあるべき形の関係者協議を重ねた。警察を含めた協議に進める。

5 「遠野物語」認知度向上新キャラクター決定

市民ワーキング、公募を経て「遠野物語」の認知度向上のためのキャラクター「イカイもん」が誕生。

5. 事業内容

1 ホームページのリニューアルと運用

① 読み物を充実し「遠野時間」全面リニューアル

これまでのWebサイトは主にお知らせとイベント情報しか更新ができない設計であったが、観光や宿泊ページなども**運営側で編集ができる**ように再設計。近年造成された体験やツアーを掲載する箇所がなかったため、「**体験・ツアー**」メニューを新たに追加。**読み物として楽しめる特集記事**を掲載できるページを用意したほか、**サイト内検索機能**も追加した。

リニューアルに合わせ、古いままの写真や情報を**全面更新**。特にアクセスの多いカップ淵は2,3行の説明文に留まっていたが、「遠野物語」の引用や捕獲許可証、関連施設の紹介など情報を充実させることで**サイト内回遊を促し、観光スポットの周遊促進**をねらった。

R6年11月にリニューアル公開し、リニューアル前と比較してユーザーの滞在時間は昨対比22秒向上、PV数も昨対比124%となった。

② SNSを共同運営し一元的な情報発信を強化

Webサイトのリニューアルと合わせ、Webサイトへの流入へつながる各種SNSも運営体制を強化。既存のフォロワー数がある観光協会のX、Facebook、観光マネジメントボード遠野のInstagramについて、アカウント名を「遠野時間 | 岩手県遠野市観光情報」にブランド統一。

アカウントは遠野市観光協会と遠野ふるさと商社の共同運営にし、タイムリーな情報と読み物系コンテンツを両方発信できるように体制を強化した。

▼R5年11月に全面リニューアルした遠野時間 (tonojikan.jp)



▼各SNSアカウントもブランド統一し情報発信体制を強化



5. 事業内容

2 広域連携プロモーション

①施設や体験を集約した共通資料で営業力強化

旅行会社等が企画を組みやすいよう、市内観光関連事業者から体験、食事、宿泊、観光施設・スポットの情報を提供いただき、ひとつに集約した**営業資料**を令和6年9月に完成させた。

盛岡、仙台発着などのモデルコースも掲載。遠野市観光協会、あえりあ遠野、遠野山・里・暮らしネットワーク等観光事業者が、商談会で遠野紹介の営業資料として使い、旅行会社等へ営業を始めている。人気のポップ畑見学なども含め、体験7、食事8、宿泊4、観光施設・スポット12を掲載。**旅行会社からも好評。**

遠野市観光情報サイト「遠野時間」内、団体・法人旅行向けページに掲載している。

②メディア露出強化

JNTO（日本政府観光局）のインバウンド向けホームページJapan's Local Treasuresの掲載に申請し、遠野ふるさと村が掲載対象として採用された。記事は令和7年2月に公開。そのほかポップ収穫祭、遠野まつりなどのプレスリリースを配信しメディアへの露出を強化した。

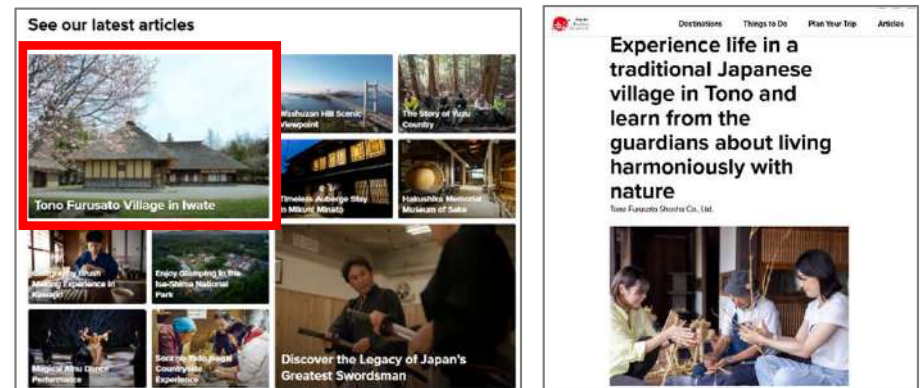
③花巻・遠野・平泉周遊を促進するWebサイトと動画を公開

花巻・遠野・平泉観光推進協議会で、30-50代個人旅行をターゲットにした3地域周遊促進のためのWebサイト制作を行った。3地域共通のストーリーとして「祈り」をテーマに各地域を紡いだモデルコース、花巻・遠野・平泉各地域の魅力を発信。スマホ画面対応のショート動画も制作されたためSNSでの発信も今後行う。

▼市内の体験、食事、宿泊、観光をまとめた営業資料



▼Japan's Local Treasuresふるさと村の紹介ページ



◀花巻・遠野・平泉観光推進協議会のWebサイト
いわてクラシック街道
<http://hanamaki-tono-hiraizumi.jp/classic/>

【付記】メディア露出実績（把握できているもの）

掲載時期	媒体	内容
2024年6月	TV	NHK WORLD岩手特集
2024年6月	雑誌	酒旅BOOK
2024年6月	音楽PV	ナノックス宮崎湧MV
2024年7月	TV	NHKみちたん再放送
2024年7月	TV	岩手放送 博物館企画展・伝承園
2024年8月	TV	NHK BS特別ドラマ「母の待つ里」
2024年8月	雑誌	AirDo機内誌（伝承園、運萬さんなど）
2024年8月	新聞	岩手日報フォーカス遠野市
2024年8月	TV	テレビ岩手御朱印巡り
2024年8月	TV	めんこいテレビ山・海・漬「ミステリー探訪」
2024年10月	TV	関西ローカル千鳥の相席食堂
2024年10月	TV	J:COM地域発ど・ローカルニュース
2024年10月	TV	テレビ朝日「ナニコレ珍百景」（飛龍山の湯）
2024年10月	TV	上田と女が吠える夜（道の駅遠野風の丘）
2024年11月	TV	岩手朝日「選択旅」
2024年11月	新聞	岩手日報「遠野市、世界の観光地100選に」
2024年11月	TV	IBC「ニュースエコー」冬支度どべっこ祭り
2024年11月	TV	めんこいテレビ、IBC、岩手朝日、テレビ岩手 どべっこ祭りキャラバン
2024年11月	新聞	岩手日報「どべっこ祭り」
2024年11月	TV	ごきげんテレビ六神石神社
2024年11月	TVCM	トヨタカローラ岩手（附馬牛町・張山しし踊り）
2024年12月	TV	NHKジオジャパン絶景100選（北上山地）
2025年2月	TV	めんこいテレビ、IBC、岩手朝日、テレビ岩手 冬のイベントキャラバン
2025年2月	新聞	岩手日報「冬のイベント（ひなまつり・ファンタジー・昔話）」
2025年2月	TV	秘密のケンミンSHOW（ひつつみ）
2025年2月	TV	朝だ！生です旅サラダ（風の丘・あんべ・ビール）
2025年2月	Web	るるぶ情報版

TV19、雑誌2、新聞4
など
年間を通して遠野が
広く発信されている

5. 事業内容

3 体験商品（コンテンツ）の受入体制づくり

通年対応可の郷土芸能体験が初めて商品化

観光庁「地域新発見事業」の採択（補助対象事業費884万）を受け、観光協会、山里ネットの郷土芸能を軸とした体験・ツアーの造成を支援。まつりの時期以外でも郷土芸能を鑑賞し、地域との交流や特別な体験ができる**通年対応**のコンテンツが生まれた。

体験している様子のショート動画5本、ロング動画1本を制作しプロモーションを実施するも、入込が落ち込む冬の時期の販売となり、わずかな販売実績に留まった。郷土芸能の維持継承に寄与する役割として、遠野に来たら郷土芸能に触れることが遠野観光の**当然の選択肢となるよう**今後もSNSやチラシ配布等で周知を続けていく。来年度は各神社の例大祭開催タイミングと合わせてツアー予定日を組むなどして、郷土芸能団体側も無理なく開催できるよう検討している。

4 オーバーツーリズム対策の協議を推進

高清水展望台のオーバーツーリズム対策協議を推進

9月～11月に遠野市、遠野市観光協会、遠野ふるさと商社で週2回の道路状況点検を実施。枝や蔓の除去などを実施したほか、事故の危険性などを遠野市へ報告した。雲海が見られる秋の早朝、来訪者が集中する高清水展望台の今後の整備については、他地域のパークアンドライド、道路規制、混雑状況の可視化事例を参考に、遠野に適した対策について協議を重ねた。

▼造成した郷土芸能を軸とした体験・ツアー

【毎週土曜日】
農泊と郷土芸能
「神楽」の練習見学



【土曜の夜】ししになる！
ししと奏でる！
郷土芸能体験ツアー



▼YoutubeやInstagramでの動画広告、銀河プラザでの放映



(視聴者数42,472人)

▼第6回定例会の様子



定例会の様子は、「観光マネジメントボード遠野事務局」の公式noteにて公開している。

https://note.com/tono_tourism/

5. 事業内容

5 キャラクター開発とグッズ展開

①市民ワーキングを開催しキャラクターの原案・アイデア募集を決定

「遠野物語」と遠野の認知度調査を実施したところ（Web回答1,000人）遠野市について知っている人は**30.7%**、「遠野物語」については**23%**という結果だった。「遠野物語」の認知度向上と遠野の観光活性化を目的に、キャラクター開発を決定。10～70代の10名の市民によるワーキングを全3回開催し、公式キャラクターの「カリンちゃん」もさらに輝くような観光PRキャラクターの原案・アイデアを募集することとなった。

②公募を実施し190件の応募の中から採用案を決定

R6年10月に『遠野物語』の認知度向上と遠野市の観光活性化に向けた、キャラクターのデザインや性格、特徴のもととなる原案・アイデアを募集したところ、**全国から190件の応募**があった。審査員5名による厳選な審査を経て、採用案となる最優秀賞1点と、特別賞5点を決定。最優秀賞は、異界の“異”をモチーフにした「イカイもん」となった。既存キャラクターと競合しないこと、遠野自体を異界と捉えたときその入り口に現れるキャラクターであることなどが評価された。

③遠野市観光PRキャラクター表彰式・キャラクター発表を開催

R7年3月10日に遠野市役所1階ホールにて、最優秀賞および特別賞受賞者の表彰式を開催した。当日は受賞者6名のうち、4名の方に現地までご列席いただき、賞状と記念品を贈呈した。その後同会場にてブラッシュアップした「イカイもん」を発表。原案者やデザイナーによる開発の経緯説明、今後の活用方針説明などを実施した。

▼市民ワーキングの様子および原案・アイデア募集のチラシ



▼表彰式の様子および最優秀賞のイカイもん



イカイもんは、“異”界の「者」であり、「門」である。現世と異界の境にいて、異界を信じる人の前に現れ、出会った人を異界に連れて行く。つまり、イカイもんは遠野のどこにでも現れ、遠野の不思議な世界に連れて行くのだ！
※異界の仲間を呼び出して紹介しようとするが、人に怖がられてしまうこともしばしば。